

5. これからの水入手について

5.1. 飲料用の水を手に入れる上で利用するサービス

おいしい水を飲む上で、水道用の浄水器も安価で売られるようになってきているし、ボトルドウォーター等の水の販売や運搬を容易にする宅配サービスなど、いろいろなサービスが行われている。本調査の回答者である集合住宅居住者はこうしたサービスがあると利用するのだろうか、あるいは既に利用しているのだろうか。「あなたはご自宅で飲料用の水を手に入れる上で、以下のようなサービスがあったら利用しますか。既に利用している方もお選びください」という質問の結果が、次の通りである。

表 27. 飲料水を利用する上で利用するサービス（複数回答）

	40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		総計	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
水道水の浄水器	39	39.0%	41	41.0%	45	45.0%	31	36.0%	156	40.4%
ウォーターサーバーの宅配サービス	22	22.0%	14	14.0%	13	13.0%	6	7.0%	55	14.2%
ボトルドウォーターの宅配サービス	19	19.0%	19	19.0%	21	21.0%	14	16.3%	73	18.9%
スーパーにある持ち帰り用の水	20	20.0%	12	12.0%	15	15.0%	15	17.4%	62	16.1%
自分の代わりに買い物を代行してくれるサービス	2	2.0%	3	3.0%	3	3.0%	2	2.3%	10	2.6%
家の近くまでボトルドウォーターを売りに来てくれる移動販売サービス	6	6.0%	2	2.0%	5	5.0%	3	3.5%	16	4.1%
その他	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	3	3.5%	5	1.3%
いずれもない	36	36.0%	36	36.0%	27	27.0%	30	34.9%	129	33.4%
総計	100		100		100		86		386	

全体を見ると1位は「水道水の浄水器」で40.4%、2位は「いずれもない」で33.4%であった。

5.2. 通信機器の操作

買い物をする上で、ウェブは欠かせないものとなりつつあるが、実態はどのようなのだろうか。「あなたは次の通信機器の操作をすることが出来ますか」という質問の結果が下記の通りである。

表 28. 通信機器操作の可否（複数回答）

	40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		総計	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
携帯電話でのウェブ画面	57	57.0%	48	48.0%	35	35.0%	33	38.4%	173	44.8%
スマートフォンでのウェブ画面	45	45.0%	48	48.0%	25	25.0%	9	10.5%	127	32.9%
タブレット端末でのウェブ画面	32	32.0%	29	29.0%	12	12.0%	6	7.0%	79	20.5%
パソコンでのウェブ画面	93	93.0%	96	96.0%	98	98.0%	82	95.3%	369	95.6%
できるものはない	3	3.0%	1	1.0%	0	0.0%	2	2.3%	6	1.6%
総計	100		100		100		86		386	

ネット調査であるから当然ではあるのだが、「パソコンでのウェブ画面」については、95.6%が操作できると回答している。しかし、携帯電話でのウェブ画面も44.8%の人が使えたと回答しており、高齢者だから端末は使えないとは一概には言えないことがわかる。

5.3. 買い物の便の悪さへの過去の不安と将来の不安

「あなたはこれまで買い物の便の悪さに不安を感じたことがありますか」という質問への回答と、「あなたは将来買い物の便の悪さに不安を感じていますか」という質問への回答をクロスした結果が、次の通りである。

表 29.買い物の便の悪さ、過去と将来のクロス

		将来の買い物の便の不安		
		感じている	感じていない	総計
これまでの買い物の便の不安	感じている	21.8%	5.2%	26.9%
	感じていない	8.3%	64.8%	73.1%
	総計	30.1%	69.9%	

これまでの買い物の便の不安を感じ、かつ、将来の買い物へも不安を感じている人が21.8%いるのに対し、買い物の便にこれまでも、これからも不安を感じていない人が64.8%となっており、二極化していることがわかる。これまで不安を感じていたが、将来は感じていない回答者や、これまで不安を感じていなかったが将来は感じている回答者がそれぞれ5.2%、8.3%と低い水準となっている。

5.4.買い物の便が良い場所に移る意向

水道水に満足できず、買い物環境への過去と将来への不安をもつ回答者が2割程度いるという集合住宅居住者にとって、「住み替え」はそうした不安を取り除く一つの選択肢といえる。「あなたは現在の場所に住み続けますか、それとも、機会があれば、もっと買い物の便が良い場所に移り住みたいと思いますか」という質問に対する結果が次の通りである。

表 30.年齢別移住意向

	40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		総計	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
住み続ける	60	60.0%	61	61.0%	76	76.0%	74	86.0%	271	70.2%
機会があれば移り住みたい	40	40.0%	39	39.0%	24	24.0%	12	14.0%	115	29.8%
総計	100		100		100		86		386	

70歳代の「住み続ける」が86.0%と一番多い。40歳代でも60.0%とあり、住み続ける志向が高いことがわかる。